「栄養学」およびその周辺分野の情報源

福本恵美子¹ 松本 宣子² 武尾 亮³ 小川 禮子⁴

女子栄養大学図書館

Fukumoto E. (Kagawa Nutrition University Library. 3-9-21 Chiyoda, Sakado-shi, Saitama 350-0288, Japan): Reference tools in the field of nutrition. *Igaku Toshokan* 2003; 50(1):36-40.

The library of Kagawa Nutrition University specializes in nutrition and medicine. The main academic fields of nutrition include applied nutrition, health science and lifestyle-related diseases, food chemistry, cooking, food culture, etc. This paper describes the reference tools commonly used in this library and introduces new and valid information resources for coping with high-speed information transmission.

On-line materials are valuable reference tools, both in their quality and quantity. However, the large amount of information that is available requires that image databases be constructed so information can be easily accessed. Furthermore, the number of useful databases, like Ichu-si web and PubMed, has increased, requiring a higher tier of database organization.

Until now, database collection has largely depended on the efforts of library staff members. However, The National Diet Library (NDL) recently began to construct a database of databases, which librarians have longed for. To date, the NDL has collected the names of about 5,000 databases. Librarians will be able to use the results of this project to expand their searching abilities and help library users to a greater degree.

Key words: Diet; Food; Nutrition ;Information Systems

I. はじめに

「栄養学」とは、外界から摂取する栄養物によって生命を維持する栄養現象についてを研究する生物学の一分野である。当該大学が教育・研究の対象としている「栄養学」の範囲は、人間と食物、その社会環境、文化等にわたり、医学・食品学・調理学・食文化との関連領域への広がりを用いる。

従って図書館で扱う「栄養学」も狭義の栄養学のみならず、次に示す「管理栄養士国家試験問題」¹⁾の出題科目(13科目)からも明らかのように、以下に挙げる広範囲な情報を指す。

解剖生理学・病理学・生化学・食品学・食品加工学・栄養学・栄養指導論・臨床栄養学・公衆栄養学・給食管理(調理学を含む)・食品衛生学・公衆衛生学・健康管理概論

本稿では、本学図書館で日常使用されている「栄養学」とその関連分野である主な情報源を紹介することとした。

II. 主な分野の情報源について

一般的な文献調査に際しては、NACSIS-Webcat(所蔵館調査), NACSIS-IR(文献検索), NACSIS-ELS(電子図書館), JOIS-STN(文献検索), PubMed, 医中誌 web, 各種オンラインジャーナルなどが挙げられよう。

本学図書館では、利用者向けに『Web 閲覧用』として、各分野の『データベース URL』を利用者端末に登録し、その内容は『PRINT 一覧』とし利用者に供している。

1. 「栄養学」に関する情報源

1) 日本栄養士会(図1)ⁱ

このサイトは栄養士有資格者あるいは将来栄養士を目指す人にとって必見のホームページ(以下、HPと示す)である。内容は以下のとおり多彩である。

- ・各都道府県栄養士会
- ・栄養士さんのリンク集
- ・専門サイトへのリンク集
- ・栄養関係データベース
- ・海外の栄養士会
- ・栄養関連企業ページ

¹Emiko FUKUMOTO, ²Nobuko MATSUMOTO, ³Ryo TAKEO,

⁴Hiroko OGAWA: 〒350-0288 埼玉県坂戸市千代田 3-9-21.

Tel.049-282-3612 Fax.049-283-2126

¹fukumoto@eiyo.ac.jp, ²mnobuko@eiyo.ac.jp, ⁴hogawa@eiyo.ac.jp

(2002年12月25日 受理)

・情報交換の場

栄養学に関わる簡易ツールとしては充実しておりリファレンスに最適である。

図1. 日本栄養士会ホームページ

2) 健康栄養学情報探索頁 (国立健康栄養研究所)

(図2)ⁱⁱ⁾

栄養学の専門的サイトとして内容が充実しており評価できる。特筆すべきは世界的な視野とサイト内の情報をキーワードにより網羅的にメタサーチできるところにある。

現在のホームページの構成は以下のとおりである。

- ①ジャーナル：英論文を中心に抄録ならびに原文の日本語訳を読むことができる。
- ②ニュースソース：「健康」についてのソースは、世界各国 yahoo HP からの日本語訳版として可読性が高い。また各国の新聞、マスコミ等の健康ソースについても同様である。
- ③政府資料等：世界各国ならびに国際機関の栄養関連資料は和訳されている。
- ④栄養所要量文献：食物繊維、リンなどの栄養素をキーワード検索が可能であり、文献も公開されている。
- ⑤栄養士：世界中の各栄養士の HP ならびに、栄養士界の動向について和訳がある。

3) 食生活情報サービスセンターⁱⁱⁱ⁾

当該機関は雑誌「月刊食と生活」を刊行、そのほかに食料消費に関する正しい知識の情報を提供している。次にあげる「食生活」に関する各データベースの掲載があり、検索が容易である。

- ・人口・労働力 (Population and Labor force)
- ・食料需給表 (Food Balance sheets)
- ・国民栄養調査 (National Nutrition Survey)
- ・家計調査等 (Family Income and expenditure Survey)

- ・食関連産業 (Food Industry)
- ・国際統計 (International Statistics)

そのほか海外の食生活関連情報へのリンクもあり、USDA (アメリカ農務省) の HP, FAO 統計データベースの閲覧が可能であるため便利なサイトである。

2. 「食品学」に関する情報源

1) 日本健康・栄養食品協会^{iv)}

食品関係資料を発行している厚生労働省所管の公益法人の団体である。雑誌「健康・栄養食品研究」を刊行し

図2. 健康栄養学情報探索頁

ている。また最近よく見聞きする「健康補助食品」, 「特定保健用食品」等に関する情報なども得ることができる。

2) 食品成分データベース^{v)}

文部科学省科学技術振興調整費研究「食品成分データベースの仕様等作成に関する実証研究」の一環として開発されたデータベースであり, 試験的に公開されている。

3. 「衛生学」に関する情報源

1) 厚生労働省^{vi)}

①白書データベース

「労働経済の分析」・「厚生白書」を昭和31年当初から平成10年度までテキスト形式で読むことが可能である。目次, 全文キーワード, 年代等, 網羅的な検索が可能であるため, 効率的に活用できる。

②法令等データベース

厚生労働省所管の法令, 政令, 省令, 告示, 通知について検索が可能である。網羅されてはいない。

2) 厚生労働省図書館^{vii)}

電子図書館として公開されており, 「厚生白書」昭和31年～, 「国民栄養調査」昭和22年～現在までをPDF形式のイメージで閲覧ができる。

3) 『食品衛生の窓』(東京都衛生局)^{viii)}

暮らしに役立つ食品衛生情報や, 遺伝子組み換え食品はじめ「食品衛生ハンドブック」等は食品衛生関連の制度を調べることができる。また東京都の各保健所へのリンクも可能である。

4) 日本公衆衛生協会^{ix)}

保健衛生活動に関する情報や学会ニュースの掲載がある。また関係団体へのリンクも張られており便利である。

4. 「調理学」に関する情報源

1) 日本体育・学校健康センター学校給食部^{x)}

学校給食関係資料の検索が可能であり, 日本における給食の歴史等を調査するうえで博物館的な網羅性がある。

2) キックマンホームクッキング^{xi)}

約5,000種のレシピ紹介と内容掲載がある。

3) 味の素^{xii)}

約6,000種のレシピ紹介がある。

4) 『ボブとアンジーのキッチン』(大阪ガス kkおすすめ情報)^{xiii)}

レシピは約5,000種あり, 食品のカロリーや成分を調べることができる。

5. 「医学」に関する情報源

1) 『リテリス：図書館職員によるウェブ医学医療情報リソース選集』 (図3)^{xiv)}

目的は『インターネットを媒介にした図書館員の幅広い協力活動をバックアップする』こととして開設されているサイトである。医学図書館員に必要とされるリファレンスツールの知識を養えるサイトである。

2) 日本医療機能評価機構^{xv)}

この団体は「医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し, その結果明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関」の主旨により開設されているHPである。学会, 専門医師等による公開情報へのリンク集があり, 医療情報が一目で解るように公開されている。EBM 医療情報サービス事業として, 最新の医学情報を平成15年度から提供する予定とのことであり, 図書館員の期待するところである。

3) 医療改善ネットワーク^{xvi)}

このネットワークは「患者の自己決定権を尊重するためには, 診断・治療・医療機関についての情報が十分に提供された上で各種の選択肢の中から患者が主体的に選

This site is created and maintained by The LITERIS Internet Team.
Revised August 27, 2002 - Since July 1, 2001
For comments about this site, contact webmaster@hosnlib.org

The NedStat counter: for LITERIS

図3. リテリス

択をする必要がある」との視点に立ち HP を開設し情報を提供している。学会、専門医等の公開情報へのリンク集もあり便利である。また「薬害資料館（ネット版）」等の多様な医療情報を収集できる。

Ⅲ. 国立国会図書館の新事業（図4）^{xvii)}

前条Ⅰ～Ⅱでは「栄養」関連 HP 情報を収集し紹介をした。図書館においてウェブページをリファレンスツールとして効率よく利用するためには、それらのツールをデータベース化する必要が生じる。またさらにデータベースのデータベース化も必要なツールとなり得る。今日迄、データベースの収集は図書館員個人の努力によるところが大きかった。この度の国立国会図書館の新事業である「web 収集事業」が始まったことは画期的なことであり、我々にとって大きな救いでもある。

1. Warp：インターネット資源選択的蓄積実験事業

標掲の事業目的は『インターネット上には数多くの有用な情報が公開されている。しかしながら、多くは頻繁に更新・削除され日々失われてゆく。ウェブ情報を文化遺産として将来の世代のために保存する事業を行う。』として、ウェブと電子雑誌をコレクション化する作業が進められている。

2. Dnavi：データベース・ナビゲーション・サービス

『インターネット上に存在する豊富なデータベースは、学術研究はもとより、多方面にわたる調査に不可欠であり、質的にも量的にも重要な情報資源である。このサービスではこれらのデータベースについて書誌情報(メタデータ)を作成し、リンクすることによってナビゲートする。』としている。この情報は我々図書館員の熱望していた公的なデータベースのデータベースである。現在約 5,000 タイトルが進行中にある。今後我々は大いにこの事業に期待し、利用したいと考えている。

Ⅳ. おわりに

IT 産業の普及によりインターネット上に膨大なデータベースが存在している。その中で図書館員のなすべきことは利用者の求めに応じた的確な情報の提供であることは周知のことである。利用者にとっては、インターネット上の膨大なデータベースから、情報の「質」を見極めることが重要であり、この道案内として図書館員のなす

図 4. 国立国会図書館ホームページ

べき重要なことは、日常における継続的な知識の習得と研修などが望まれている。また図書館員同士の情報交換による知識や技術は利用者へ還元、提供していくことに我々の任務もあると考える。

参考文献

- 1) 管理栄養士教育研究会, 管理栄養士国家試験の傾向と対策 2003. 東京: 南江堂; 2002.

紹介した情報源 URL

- i) 日本栄養士会 <http://www.dietitian.or.jp/> [accessed 2003-1-29]
- ii) 健康栄養学情報探索頁 <http://dumpty.nih.go.jp/index1.html> [accessed 2003-1-29]
- iii) 食生活情報サービスセンター <http://www.risfl.or.jp/> [accessed 2003-1-29]
- iv) 日本健康・栄養食品協会 <http://www.health-station.com/jhnfa/> [accessed 2003-1-29]
- v) 食品成分データベース <http://food.tokyo.jst.go.jp/> [accessed 2003-1-29]
- vi) 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/> [accessed 2003-1-29]
- vii) 厚生労働省図書館 <http://library.mhlw.go.jp/> [accessed 2003-1-29]
- viii) 食品衛生の窓 <http://www.kenkou.metro.tokyo.jp/shokuhin/> [accessed 2003-1-29]
- ix) 日本公衆衛生協会 <http://www.jpha.or.jp/> [accessed 2003-1-29]
- x) 日本体育・学校保健センター学校給食部 <http://www.ntgk.go.jp/kyuusyoku/kyusyoku/kyusyoku.html> [accessed 2003-1-29]

2003-1-29]

- xi) キッコーマンホームクッキング <http://www.kikkoman.co.jp/homecook/> [accessed 2003-1-29]
- xii) 味の素 <http://www.ajinomoto.co.jp/ajinomoto/index.html> [accessed 2003-1-29]
- xiii) ボブとアンジーのキッチン <http://www.bob-an.com/> [accessed 2003-1-29]

- xiv) リテリス：図書館職員によるウェブ医学情報リソース選集 <http://www.hosplib.org/literis/> [accessed 2003-1-29]
- xv) 日本医療機能評価機 <http://jcqhc.or.jp/html/index.htm> [accessed 2003-1-29]
- xvi) 医療改善ネットワーク <http://www.mi-net.org/> [accessed 2003-1-29]
- xvii) 国立国会図書館 <http://ndl.go.jp/> [accessed 2003-1-29]